

きたすま

イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った
(ルカ 19・4)

No.232 (11月号)

2022年10月30日発行
発行 カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡
編集 広報委員会

あなたがたをわたしのもとに迎える

林 和則 神父

11月は「死者の月」です。

キリスト教の信仰で「死」を考える時、ひとつの大切なポイントは「私たちは死ねばすぐに『天国』に行くことができる」という確信です。けれどもこのように断言されると、多くの方がたは何か釈然としない感じがするのではないのでしょうか。その感覚を生じさせるのは、私たち人間の罪深さです。それをもっともよく知っているのは自分自身だからです。人には見せられない、自分の中に渦巻くドロドロとした、憎悪などの負の情念にどっぷり浸かっている自分がいるからです。そんな自分が死後すぐに、簡単に「天国」に行くことができるのか？これは誰もが抱く不安でしょう。けれどもそれは、私たちが「自分の力」で「天国」に行くということを前提とするから生じる不安なのです。確かに弱く、不完全な私たちは誰も「自分の力」で「天国」に行くことはできません。

では、私たちが「天国」にすぐに行けるという確信はどこから来るのでしょうか？それは福音のイエスのことば、私たちへの約束に基づいているのです。

「行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える(ヨハネ 14:3)」

「場所」これが「天国」です。私たちは自分の力で「天国」に行くではありません。私たちが死ねば、すぐにイエスが迎えに来てくださって、私たちの魂を御手に抱いてくださって「天国」へと連れて行ってくださるのです。それは私たちにその「資格」があるからでは、ありません。なぜかはわかりません、神秘と云ってよいのですが、父なる神が、子であるキリスト・イエスが私たちが愛してくださっている、ただそれだけです。その愛は「かわいそうだから、救ってやろうか」といったようなものではありません。ただただ、私たちが愛おしいあまりに私たちと共にいたいからなのです。

「こうして、わたしのいるところに、あなたがたもいることになる(同上)」

ですから私たちは亡くなる時、こう宣言して、自らの信仰を人びとにあかししましょう。

「私は天国に行きます。神が私を待っていてくださるからです。私を愛してくださっているからです」



委員会の紹介 第5回 地区委員会

◆ 地区委員会の仕事 ◆

1. ミサに関すること
(通常のみさにもどるまで)
 - ① 典礼奉仕者を2つの地区で相談して決める。(先唱者と朗読者)
 - ② ミサ出席者名簿の準備と集計
 - ③ 祭壇の花の準備(園芸の方が担当)
2. 教会の清掃
 - ① 毎月1回程度、ミサ後に参加者で掃除
 - ② ごみ(教会内・庭)の持ち帰り
3. 地区の連絡
 - ① 地区連絡網の更新と作成
 - ② 教会からの用件を☎やメールで連絡する。
4. 地区の皆さんの様子を知る。
 - ① 新しく来られた方への配慮
 - ② ミサに来られない病気の方、ご高齢の方について高齢者支援委員会と連携
5. コロナ感染症対策のため、お茶当番とパーティーの準備は休止中

◆ 地区再編成について ◆

目的

信徒の高齢化によって、掃除やパーティー等の活動が可能な人数にばらつきが生じており、人数の少ない地区では1人当たりの負担が大きくなっている現状の改善のために。

打開策

- ① 掃除：コロナ収束後も月1回程度のミサ後の掃除を継続する。
3ヶ月に1回の土曜日の掃除はなくなる。
- ② 復活祭・クリスマスのパーティー：規模を縮小し、担当地区の負担を軽減する。
地区を組み合わせ、2～3地区が合同で準備

結果

地区再編成をしないで現状を維持する。地区内の人たちと長年にわたり、奉仕を共にしてきた親しいつながりを大切にしつつ、他の地区の人たちと協力しよう。

問題点

- ① 同じ地区ばかり掃除が当たり不公平
- ② 掃除はあくまで自由参加と言えども、ミサ後掃除をしないで帰りにくい
- ③ 年2回の地区集会がなくなると、神父様との交わりの場が無い

地区委員会で話し合いを重ね、打開策としての月1回ミサ後の掃除を試行しています。問題点については、今後も改善してゆくつもりです。つきましては、掃除やその他のことについても、お気付きの点やアイデアがありましたら、各地区委員にお伝えください。地区委員一丸となって頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

おしらせ

評議会

早いもので、今年も、もう11月を迎えようとしています。
10月16日(日) ミサ後、2022年度小教区会計の中間決算について、会計監査を受けました。コロナ禍の中、2021年度末は、教区の意向で各小教区自主監査となっていました。この度は相互監査に戻り、明石教会の方に監査をして頂きました。監査の結果、会計は適正に処理されているとの評価を頂きました。
また、同じ16日の午後2時、2022年10月度神戸地区宣教司牧評議会が北須磨教会で開催され、コロナ状況下での各小教区におけるミサの参加や、教会活動の状況について、報告、意見交換が行われました。聖歌は、まだ歌わない所が多いようです。

典礼委員会

11月13日のミサでは一年間の帰天者名を読み上げ、共同祈願を行います。
また、祈りのカードを奉納しますので聖堂内に用意しているカードに記入し当日までに備え付けのかごにお入れください。

高齢者支援委員会

須磨離宮公園への遠足を計画しています。自然の中でお弁当を食べたり、噴水広場のバラ園を散策して、リフレッシュしませんか？

場 所： 須磨離宮公園
日 時： 2022年11月4日(金)
集合場所： ポセイドン広場(レストラン前)
集合時間： 11時30分
お弁当代： 1000円(当日ポセイドン広場にて承ります)
持ち物： お茶、レジャーシート
入園料： 400円



65歳以上 無料(運転免許証・健康保険証 等提示)

- ※ お弁当ご持参の場合は、締め切り後でも参加OKです。
- ※ 雨天時は教会でお弁当。
- ※ 参加ご希望の方は、10月30日ミサ後までにご連絡ください。

W H 090-****-****
T M 080-****-****

編集後記

待降節がやってきますね。今年はキャロルも復活することと、久しぶりにクリスマス前のウキウキした気持ちになっています。<YKT>

マンスリースケジュール11月



2022

日・曜日

11/1	火	諸聖人		
2	水	死者の日		
3	木			
4	金		高齢者支援委員会遠足	主日の聖書を読む会(14:00～)
5	土			ロザリオの祈り(14:00～)
6 日 年間第32主日 ミサ10:00～ 第4・6B・7地区				
7	月			
8	火		社会活動センター炊き出し(9:30)	
9	水			
10	木			
11	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
12	土			ロザリオの祈り(14:00～)
13 日 年間第33主日 ミサ10:00～ 第1・6A地区 中川神父講話(ミサ後) 典礼委員会(ミサ後)				
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
19	土			ロザリオの祈り(14:00～)
20 日 王であるキリスト ミサ10:00～ 第3・5地区 中川神父講話(ミサ後) 掃除(講話後) 聖書週間(～27日)				
21	月			
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
26	土		広報委員会(10:00～)	ロザリオの祈り(14:00～)
27 日 待降節第1主日 ミサ10:00～ 第2・4地区 新式次第ミサ開始 ラウダートシサークル(ミサ後)				
28	月			
29	火			
30	水			
12/1	木			
2	金			
3	土			
4 日 待降節第2主日 ミサ10:00～ 第1・6B・7地区				

注) 大阪教区からの新しい通達があるまでは、上記ローテーションでのミサ参加になります。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。
また、ゆるしの秘跡、病者の塗油、ご聖体をご希望の方も、いつでもご連絡ください。

- ◇ ミサに与る時は、マスクを着用し、手指消毒に心がけてください。
- ◇ 『聖書と典礼』はご自分の分を持参してください。

